

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団

目 次

I	事業報告	1
II	付属明細書	11
1	友愛のさと診療所・療育センター	12
2	子どものこころの診療所	15
3	相談支援事業所「シグナル」	18
4	発達相談支援センター「ルピロ」	20
5	児童発達支援センター「ひまわり」	22
6	浜松市発達支援広場事業・保育所等巡回支援事業	27
7	児童発達支援事業所「ひまわり ひくまの丘」	28
8	児童発達支援事業所「ひまわり こころん」	30
9	生活介護・就労継続支援施設「かがやき」	32
10	就労継続支援施設「はばたき」	34
11	障害者生活介護施設「ふれんず」	35
12	地域活動支援センター「オルゴール」	36
13	身体障害者福祉センター	37
14	障害者体育館・プール	37
15	法人組織・職員構成	38

I 事業報告

1 令和2年度 事業の概況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

【指定管理事業】(延べ利用人数)

項 目	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
友愛のさと診療所	人	39,346	41,585	40,000	43,805	105.3%	
訪問事業(診療・看護・リハビリテーション)	人	1,101	1,057	960	1,169	110.6%	
医療型特定短期入所	人	285	223	290	113	50.7%	
療育センター	人	2,928	3,210	3,400	3,167	98.7%	
子どものこころの診療所	人	27,160	26,297	28,000	26,915	102.4%	
相談支援事業所「シグナル」	人	22,105	23,439	20,990	24,081	102.7%	
児童発達支援センター ひまわり	重心	人	1,645	2,258	2,100	2,616	115.9%
	重心以外	人	13,549	14,174	14,100	14,257	100.6%
	親子通園	人	4,381	4,590	4,300	3,856	84.0%
	居宅訪問支援	人	23	42	110	63	150.0%
	保育所等訪問	人	336	329	340	403	122.5%
生活介護・就労継続支援施設 「かがやき」	生活介護	人	10,876	10,973	11,500	10,974	100.0%
	就労継続	人	2,060	1,854	2,300	1,876	101.2%
就労継続支援施設「はばたき」	人	5,308	5,132	5,400	4,601	89.7%	
障害者生活介護施設「ふれんず」	人	4,832	5,008	5,150	4,972	99.3%	
身体障害者福祉センター	人	1,928	1,940	2,560	1,341	69.1%	
障害者体育館・プール	人	18,331	18,304	22,300	13,823	75.5%	
福祉バス	人	2,306	1,808	2,200	1,439	79.6%	
合 計	人	158,500	162,223	166,000	159,471	98.3%	

【受託事業、自主事業】(延べ人数、延べ組数、延べ件数)

項 目	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
地域活動支援センター「オルゴール」	人	3,585	3,072	3,660	2,764	90.0%	
浜松市発達支援広場(中区)	組	716	574	800	305	53.1%	
浜松市発達支援広場(浜北区・天竜区)	組	733	544	800	281	51.7%	
浜松市発達支援広場(施設型)	組	816	653	800	679	104.0%	
浜松市保育所等巡回支援事業	件	312	384	300	435	113.3%	
浜松市家庭訪問支援事業	人	12	12	12	12	100.0%	
発達相談支援センター「ルピロ」	件	5,976	6,261	5,918	5,975	95.4%	
難病患者等リフレッシュ事業	人	48	34	50	22	64.7%	
小中学校訪問看護事業	人	61	175	300	278	158.9%	
ひまわり ひくまの丘	親子通園	人	2,651	2,463	2,550	2,468	100.2%
	保育所等訪問	人	95	96	95	74	77.1%
ひまわり こころん	毎日通園	人	1,955	2,199	2,200	2,176	99.0%
	保育所等訪問	人	12	9	10	6	66.7%
合 計	人	16,972	16,476	17,495	15,475	93.9%	

2 事業実績及び収支状況

【1】指定管理事業（医療部門）

【対象施設】：友愛のさと診療所、子どものこころの診療所

医療部門では、延べ診察人数が 71,889 人となり、計画(計画比 104.2%)及び前年度(前年度比 104.3%)を上回りました。

延べ診察人数の増加に伴い、利用料金収入も 472,953 千円と計画(計画比 103.3%)及び前年度(前年度比 102.7%)を上回りました。

表 1 延べ診察人数の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		63,289人	67,607人	68,939人	68,960人	71,889人	***
対前年 比較	増減	1,562人	4,318人	1,332人	21人	2,950人	2,929人
	比率	102.5%	106.8%	102.0%	100.0%	104.3%	104.2%

表 2 利用料金収入の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		421,884千円	453,969千円	460,685千円	457,880千円	472,953千円	***
対前年 比較	増減	6,227千円	32,085千円	6,716千円	△2,805千円	12,268千円	15,073千円
	比率	101.5%	107.6%	101.5%	99.4%	102.7%	103.3%

【2】指定管理事業（療育・福祉部門）

【対象施設】：ひまわり、かがやき、ふれんず、はばたき、友愛のさと診療所(医療型特定短期入所)、シグナル、療育センター、身体障害者福祉センター、障害者体育館・プール、福祉バス

療育・福祉部門では、施設部門で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業の一部休止や利用者の自粛等もあり、延べ利用者数は87,582人と、計画(計画比90.3%)・前年度(前年度比93.9%)をともに下回りました。

「相談支援事業所シグナル」の計画相談件数の増加等により、利用料金収入は594,371千円と計画(計画比101.6%)及び前年度(前年度比101.9%)を上回りました。

表 3 延べ利用者数の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		95,349人	90,893人	93,284人	97,040人	87,582人	***
対前年 比較	増減	2,364人	△4,456人	2,391人	3,756人	△5,702人	△9,458人
	比率	102.5%	95.3%	102.6%	104.0%	93.9%	90.3%

表 4 利用料金収入の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		538,813千円	543,819千円	583,349千円	585,285千円	594,371千円	***
対前年 比較	増減	19,103千円	5,006千円	39,530千円	1,936千円	11,022千円	9,086千円
	比率	103.7%	100.9%	107.3%	100.3%	101.9%	101.6%

【3】受託事業・自主事業

受託事業：浜松市発達支援広場事業(ひまわり)、浜松市地域活動支援センターⅡ型事業(オルゴール)、
浜松市発達障害者支援センター運営事業(ルピロ)など
自主事業：児童発達支援事業所(ひまわり ひくまの丘、ひまわり こころん)

受託事業として、浜松市発達支援広場事業や浜松市発達障害者支援センター運営事業(ルピロ)などを、また、自主事業として、児童発達支援事業所(ひまわり ひくまの丘、ひまわり こころん)を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動を休止したり利用人数を制限したことにより延べ利用者数は15,475人と計画(計画比88.5%)及び前年度(前年度比93.9%)ともに下回りました。

収入は前年度(前年度比102.7%)は上回りましたが計画値(計画比94.8%)は下回りました。

表 5 受託事業・自主事業の延べ利用者数の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		16,101人	16,972人	16,476人	17,495人	15,475人	***
対前年 比較	増減	2,081人	871人	△496人	1,019人	△1,001人	△2,020人
	比率	114.8%	105.4%	97.1%	106.2%	93.9%	88.5%

表 6 受託事業・自主事業の収入の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		156,596千円	188,405千円	199,608千円	216,265千円	204,993千円	***
対前年 比較	増減	19,998千円	31,809千円	11,203千円	16,657千円	5,385千円	△11,272千円
	比率	114.6%	120.3%	105.9%	108.3%	102.7%	94.8%

【4】資金収支状況

(1) 利用料金収入

医療事業収入や障害福祉サービス等事業収入からなっている利用料金収入は、1,067,324千円と計画(計画比102.3%)、前年度(前年度比102.2%)ともに上回りました。

表7 利用料金収入の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		960,697千円	997,788千円	1,044,034千円	1,043,165千円	1,067,324千円	***
対前年 比較	増減	25,330千円	37,091千円	46,246千円	△869千円	23,290千円	24,159千円
	比率	102.7%	103.9%	104.6%	99.9%	102.2%	102.3%

(2) 指定管理料

令和2年度は、243,384千円となりました。

表8 指定管理料の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実績		0千円	147,000千円	242,046千円	243,384千円
対前年 比較	増減	△198,585千円	147,000千円	95,046千円	1,338千円
	比率	***	***	164.7%	100.6%

(3) 資金収支状況

事業活動資金収支差額は、72,553千円となりました。

表9 事業活動資金収支差額の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 計画	令和2年度	対計画比較
実績		△161,777千円	△72,835千円	47,146千円	59,521千円	72,553千円	***
対前年 比較	増減	△195,597千円	88,942千円	119,981千円	12,375千円	25,407千円	13,032千円

(4) 内部留保

令和2年度は 399,657 千円となり、前年度より増(前年度比 105.5%)となりました。

表 10 内部留保額の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
施設設備等 整備積立金	50,000千円	50,000千円	50,000千円	50,000千円	
財政調整 積立金	210,419千円	139,355千円	131,951千円	120,330千円	
次期繰越活動 増減差額	212,285千円	188,305千円	196,722千円	229,327千円	
計 (内部留保額)	472,704千円	377,660千円	378,673千円	399,657千円	
対前年 比較	増減	△186,104千円	△95,044千円	1,013千円	20,984千円
	比率	71.8%	79.9%	100.3%	105.5%

表 11 資金収支の推移

【計画】

(単位：千円)

		平成29年度 予算	平成30年度 予算	令和元年度 予算	令和2年度 予算	
事業活動 による収支	収入	指定管理料収入	0	147,000	240,470	243,384
		利用料金収入	957,271	1,008,004	1,015,730	1,043,165
		受託事業・自主事業収入	159,808	183,850	201,357	216,265
		その他収入	13,016	13,076	10,320	10,824
		事業活動収入計	1,130,095	1,351,930	1,467,877	1,513,638
	支出	人件費支出	1,009,266	1,073,069	1,084,655	1,100,512
		事業費支出	140,432	193,564	176,351	181,085
		事務費支出	159,729	168,643	167,282	172,520
		その他支出	0	0	0	0
		事業活動支出計	1,309,427	1,435,276	1,428,288	1,454,117
事業活動資金収支差額(1)		△179,332	△83,346	39,589	59,521	
その他 収支	施設整備等収支差額(2)	△23,968	△6,983	△22,519	△21,844	
	退職給付引当資産収支差額(3)	△29,991	△19,364	△20,817	△37,677	
	その他積立資産等収支差額(4)	233,291	109,693	3,747	0	
	その他の活動による収支差額(5)	0	0	0	0	
当期資金収支差額計(6)=(1)+(2)+(3)+(4)+(5)		0	0	0	0	
前期末支払資金残高(7)		212,670	231,364	227,647	227,647	
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		212,670	231,364	227,647	227,647	

【実績】

(単位：千円)

		平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	
事業活動 による収支	収入	指定管理料収入	0	147,000	242,046	243,384
		利用料金収入	960,697	997,788	1,044,033	1,067,324
		受託事業・自主事業収入	156,596	188,405	199,608	204,993
		その他収入	18,745	15,096	12,116	16,452
		事業活動収入計	1,136,038	1,348,289	1,497,803	1,532,153
	支出	人件費支出	1,038,050	1,090,907	1,120,211	1,118,877
		事業費支出	114,714	179,962	167,443	174,893
		事務費支出	145,051	150,255	163,003	160,023
		その他支出	0	0	0	5,807
		事業活動支出計	1,297,815	1,421,124	1,450,657	1,459,600
事業活動資金収支差額(1)		△161,777	△72,835	47,146	72,553	
その他 収支	施設整備等収支差額(2)	△22,406	△7,426	△23,834	△18,761	
	退職給付引当資産収支差額(3)	△13,556	418	△20,005	△25,746	
	その他積立資産等収支差額(4)	194,267	71,064	7,404	11,622	
	その他の活動による収支差額(5)	△267	127	1	△96	
当期資金収支差額計(6)=(1)+(2)+(3)+(4)+(5)		△3,739	△8,652	10,712	39,572	
前期末支払資金残高(7)		231,373	227,634	218,983	229,695	
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		227,634	218,982	229,695	269,267	

【実績-計画】

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業活動 による収支	収入	指定管理料収入	0	0	1,576	0
		利用料金収入	3,426	△10,216	28,303	24,159
		受託事業・自主事業収入	△3,212	4,555	△1,749	△11,272
		その他収入	5,729	2,020	1,796	5,628
		事業活動収入計	5,943	△3,641	29,926	18,515
	支出	人件費支出	28,784	17,838	35,556	18,365
		事業費支出	△25,718	△13,602	△8,908	△6,192
		事務費支出	△14,678	△18,388	△4,279	△12,497
		その他支出	0	0	0	5,807
		事業活動支出計	△11,612	△14,152	22,369	5,483
事業活動資金収支差額(1)		17,555	10,511	7,557	13,032	
その他 収支	施設整備等収支差額(2)	1,562	△443	△1,315	3,083	
	退職給付引当資産収支差額(3)	16,435	19,782	812	11,931	
	その他積立資産等収支差額(4)	△39,024	△38,629	3,657	11,622	
	その他の活動による収支差額(5)	△267	127	1	△96	
当期資金収支差額計(6)=(1)+(2)+(3)+(4)+(5)		△3,739	△8,652	10,712	39,572	
前期末支払資金残高(7)		18,703	△3,730	△8,664	2,048	
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		14,964	△12,382	2,048	41,620	

3 理事会・評議員会・監査の開催状況

【1】理事会・評議員会

区 分	開催年月日	出席者数	議 事 内 容
(1) 理事会	第1回 令和2年6月3日(水) 場所：浜松市発達医療 総合福祉センター 文化棟 ホール	理事 7人 監事 2人	決議事項 1 令和元年度事業報告及び決算の承認の件 2 令和2年度定時評議員会の招集の件 3 評議員(補欠評議員)候補者1名選定の件 4 令和2年度第2回評議員選任・解任委員会の召集の件 報告事項 1 理事長の職務執行状況報告の件
	第2回 令和2年11月30日(月)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 役員等の報酬並びに費用弁償支給規程の一部改正の件 2 職員給与規程等の一部改正の件 3 令和2年度第2回臨時評議員会の招集の件
	第3回 令和3年3月19日(金) 場所：浜松市役所 本館8階 第4委員会室	理事 7人 監事 2人	決議事項 1 経理規程の一部改正の件 2 職員就業規程等の一部改正の件 3 職員給与規程等の一部改正の件 4 令和2年度資金収支補正予算(案)の同意の件 5 令和3年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の同意の件 6 施設長等の選任・解任の件 7 令和2年度第3回臨時評議員会の招集の件 報告事項 1 理事長の職務執行状況報告の件
	第4回 令和3年3月29日(月)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 評議員選任・解任委員(補欠委員)2名選任の件 2 評議員(補欠評議員)候補者2名選定の件 3 理事(補欠理事)候補者1名選定の件 4 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の召集の件 5 令和3年度第1回臨時評議員会の招集の件

区 分	開催年月日	出席者数	議 事 内 容
(2) 評議員会	第1回臨時評議員会 令和2年4月1日(水)	評議員 7人 ※決議の省略 <欠員> 評議員 2人	決議事項 1 理事(補欠理事)1名選任の件
	定時評議員会 令和2年6月19日(金) 場所: 浜松市発達医療 総合福祉センター 文化棟 ホール	評議員 8人 監事 2人 <欠席> 評議員 1人	報告事項 1 令和元年度事業報告の件 決議事項 1 令和元年度決算の承認の件
	第2回臨時評議員会 令和2年11月30日(月)	評議員9人	決議事項 1 役員等の報酬並びに費用弁償支給規程の一部改正の件
	第3回臨時評議員会 令和3年3月29日(月)	評議員 7人 <欠席> 評議員2人	決議事項 1 令和2年度資金収支補正予算(案)の承認の件 2 令和3年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の承認の件

【2】 監査

区 分	実施年月日	監査人	監 査 内 容
(1)決算監査	令和2年5月19日(火)	監事 2人	令和元年度決算監査(会計及び業務監査)
(2)中間監査	令和2年11月20日(金)	監事 2人	令和2年度中間監査

Ⅱ 付属明細書

【 1 】 友愛のさと診療所・療育センター

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
新 患 実 人 数		人	826	689	750	572	83.0%	
診 療 科 別	精 神 科	診療実日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	21,485	22,633	21,300	23,396	103.4%
		1日平均	人	88.1	94.3	87.7	96.3	102.1%
	小 児 科	診療実日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	16,916	17,998	17,800	19,407	107.8%
		1日平均	人	69.3	75.0	73.3	79.9	106.5%
	整 形 外 科	診療実日数	日	23	24	24	24	100.0%
		延べ人数	人	376	375	380	477	127.2%
		1日平均	人	16.3	15.6	15.8	19.9	127.2%
	耳 鼻 咽 喉 科	診療実日数	日	23	24	24	20	83.3%
		延べ人数	人	135	152	120	114	75.0%
		1日平均	人	5.9	6.3	5.0	5.7	90.0%
眼 科	診療実日数	日	39	39	40	43	110.3%	
	延べ人数	人	434	427	400	411	96.3%	
	1日平均	人	11.1	10.9	10.0	9.6	87.3%	
合 計		診療延べ人数	人	39,346	41,585	40,000	43,805	105.3%
利 用 料 金 (医 業 収 入)		円	257,602,441	277,208,676	260,480,000	287,558,773	103.7%	
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	6,547	6,666	6,512	6,565	98.5%	

投 薬	処方箋による調剤	院 内	枚	48	35	50	51	145.7%
		院 外	枚	9,331	10,018	8,000	11,145	111.2%
合 計		処方枚数	枚	9,379	10,053	8,050	11,196	111.4%

各 種 検 査	X 線 検 査	延べ件数	件	137	134	140	131	97.8%
	脳 波 検 査	延べ件数	件	95	88	100	99	112.5%
	聴性脳幹反応検査	延べ件数	件	11	1	10	4	400.0%
	聴 力 検 査	延べ件数	件	50	49	48	27	55.1%
	言 語 発 達 検 査	延べ件数	件	121	163	200	104	63.8%
	腹 部 超 音 波 検 査	延べ件数	件	4	8	20	0	—
	血 液 検 査	延べ件数	件	163	155	190	165	106.5%
	尿 検 査	延べ件数	件	40	48	30	50	104.2%
合 計			件	621	646	738	580	89.8%

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
個 別 指 導	理 学 療 法	訓練実日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	4,576	4,718	4,500	5,589	118.5%
		1日平均	人	18.8	19.7	18.5	23.0	116.8%
	作 業 療 法	訓練実日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	3,704	3,694	3,500	4,216	114.1%
		1日平均	人	15.2	15.4	14.4	17.3	112.3%
	言 語 聴 覚 療 法	訓練実日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	2,905	3,284	3,200	3,586	109.2%
		1日平均	人	11.9	13.7	13.2	14.8	108.0%
視 能 訓 練	訓練実日数	日	244	240	243	229	95.4%	
	延べ人数	人	732	718	740	667	92.9%	
	1日平均	人	3.0	3.0	3.0	2.9	96.7%	
臨 床 心 理	訓練実日数	日	244	240	243	243	101.3%	
	延べ人数	人	9,686	10,293	9,300	9,997	97.1%	
	1日平均	人	39.7	42.9	38.3	41.1	95.8%	
合 計		延べ人数	人	21,603	22,707	21,240	24,055	105.9%

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
集 団 指 導	早期支援グループ	実施回数	回	60	70	48	61	87.1%
		延べ人数	人	287	299	150	346	115.7%
		1回平均	人	4.8	4.3	3.1	5.7	132.6%
	心理支援グループ	実施回数	回	102	99	94	73	73.7%
		延べ人数	人	635	596	660	416	69.8%
		1回平均	人	6.2	6.0	7.0	5.7	95.0%
	ピアクラブ	実施回数	回	40	41	33	35	85.4%
		延べ人数	人	220	218	200	162	74.3%
		1回平均	人	5.5	5.3	6.1	4.6	86.8%
	学童期吃音児への 小集団支援	実施回数	回	6	5	5	4	80.0%
		延べ人数	人	42	33	35	13	39.4%
		1回平均	人	7.0	6.6	7.0	3.3	50.0%
摂食指導グループ	実施回数	回	-	-	12	0	-	
	延べ人数	人	-	-	50	0	-	
	1回平均	人	-	-	4.2	0.0	-	
合 計		延べ人数	人	1,184	1,146	1,095	937	81.8%

【訪問事業】

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
訪 問 事 業	訪問診療	事業日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	299	286	290	331	115.7%
		1日平均	人	1.2	1.2	1.2	1.4	116.7%
	訪問看護	事業日数	日	244	240	243	0	0.0%
		延べ人数	人	123	24	20	0	0.0%
		1日平均	人	0.5	0.1	0.1	0.0	-
	訪問リハビリテーション	事業日数	日	244	240	243	243	101.3%
		延べ人数	人	679	747	650	838	112.2%
		1日平均	人	2.8	3.1	2.7	3.4	110.8%
合 計		延べ人数	人	1,101	1,057	960	1,169	110.6%
利 用 料 金		円	12,884,745	13,610,288	12,480,000	15,859,010	116.5%	

【委託事業】

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
難病患者等介護家族 リフレッシュ事業	就学	延べ人数	人	41	32	10	22	68.8%
	在宅	延べ人数	人	7	2	40	0	0.0%
小中学校訪問看護業務		延べ人数	人	58	175	300	278	158.9%

【医療型特定短期入所事業(一時預り)】

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条8項】

利 用 定 員	1日2名
主 たる 対 象	医療的ケアの必要な重症心身障害児
サ ー ビ ス 提 供 日	月曜日から金曜日(友愛のさと診療所開業日)
サ ー ビ ス 提 供 時 間	9:00～17:00

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
医療型特定短期入所 (いちごショート)	開 所 日 数	日	244	240	243	243	101.3%
	延 べ 人 数	人	285	223	290	113	50.7%
	1 日 平 均	人	1.2	0.9	1.2	0.5	53.8%
利用料金		円	9,194,364	6,725,072	8,932,000	3,408,470	50.7%

友愛のさと診療所の新患者数は572人と前年度(前年度比83.0%)より減少した。新患者の待機期間は、約12～14ヶ月と前年度よりも長くなった。再診を含めた延べ人数は、精神科で前年度比103.4%、小児科は107.8%と増加している。

年齢別内訳は3歳、4歳にピークがあり、0歳から9歳までで全体の約80%を占めた。地域別内訳では浜北区と東区の割合が高く、全体の50%を占めた。疾患別では自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害で全体の約57%を占めた。

個別指導では、理学療法は前年度比118.5%、作業療法は前年度比114.1%、言語聴覚療法は前年度比109.2%と増加した。臨床心理は、職員配置の影響で前年度比97.1%と減少した。視能訓練は新型コロナウイルスの影響により前年度比92.9%と減少した。集団指導は、早期支援としてグループを新設したため延べ人数は増加した。その他のグループは、新型コロナウイルスの影響で減少した。

医療型特定短期入所事業および難病患者等介護家族リフレッシュ事業は、職員配置の関係で前年度比がそれぞれ50.7%、68.8%と減少した。訪問事業は、訪問リハビリテーションの延べ人数は前年比112.2%と上回り、訪問診療も前年度比115.7%と増加した。看護師派遣による小中学校訪問看護業務の訪問日数が増加したため、延べ人数が前年比で158.9%と増加となった。

【療育センター事業】

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比		
障 害 児 等 療 育 支 援 事 業	教 育 機 関 へ の 支 援 ※教育委員会との発達教育 研修を含む	個別	延 べ 人 数	人	93	107	140	99	92.5%
		集団	実 施 回 数	回	13	15	14	12	80.0%
			延 べ 人 数	人	178	138	180	126	91.3%
	特別支援学校への支援	個別	延 べ 人 数	人	34	31	40	0	-
療 育 推 進 事 業	親 子 交 流 あ そ び 広 場 (うずらちゃん広場)	開 催 回 数	回	41	38	41	31	81.6%	
		延 べ 人 数	人	1,402	1,231	1,840	579	47.0%	
	おもちゃ貸出	延 べ 人 数	人	435	425	500	297	69.9%	
	プレイポート開放	延 べ 人 数	人	685	1,155	600	1,970	170.6%	
うずらちゃん広場個別相談	延 べ 人 数	人	101	123	100	96	78.0%		
合 計		延 べ 人 数	人	2,928	3,210	3,400	3,167	98.7%	

特別支援学校への支援が無かったのは、新型コロナウイルスの影響により、教師による外来見学が学校閉鎖期間に重なったことによる。療育推進事業においても新型コロナウイルスの影響で実施回数や参加組数を制限したため、前年度比47.0%となった。しかし、保健師による紹介は増えており、相談件数は増加している。プレイポートは一般開放を中止したが、児童発達支援センターひまわりでの集団利用が非常に増えたため前年度比170.6%となった。

【 2 】 子どものこころの診療所

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比		
新 患 患 者 数		人	790	604	690	754	124.8%		
インテーク面接を行った新患件数		件	636	432	—	599	138.7%		
精 神 科	診療実日数	日	244	240	243	243	101.3%		
	延べ人数	人	27,160	26,297	28,000	26,915	102.4%		
	1日平均	人	111.3	109.6	115.2	110.8	101.1%		
利用料金（医療事業収入）		円	196,366,625	183,476,551	197,400,000	185,394,661	101.0%		
1人あたりの平均単価		円	7,230	6,977	7,050	6,888	98.7%		
投 薬	処方箋による調剤	院 内 枚	0	0	0	0	—		
		院 外 枚	15,517	15,328	14,000	15,934	104.0%		
合 計		処方枚数	枚	15,517	15,328	14,000	15,934	104.0%	
個 別 指 導	言 語 聴 覚 療 法	訓練実日数	日	244	240	243	243	101.3%	
		延べ人数	人	3,332	4,171	4,740	4,335	103.9%	
		1日平均	人	13.7	17.4	19.5	17.8	102.3%	
	臨 床 心 理	訓練実日数	日	244	240	243	243	101.3%	
		延べ人数	人	4,730	4,488	4,000	4,496	100.2%	
		1日平均	人	19.4	18.7	16.5	18.5	98.9%	
集 団 指 導	ペア レント 等 トレ ー ニ ン グ	集 団 形 式	実施回数	回	102	47	100	0	—
			延べ人数	人	415	150	400	0	—
			1回平均	人	4.1	3.2	4.0	0.0	—
	個 別 形 式	延べ人数	人	243	249	320	273	109.6%	
イ ン テ ー ク 面 接		件	723	478	580	684	143.1%		

精神科は計画では常勤医師4人の体制で見込んでいたが前年度同様3人体制であった。そのため診療延べ人数は計画値には達しなかったが、実績値は前年度の102.4%となった。

新患者数は前年度比124.8%となった。新患者の待機期間は3月末で約4ヶ月となっている。

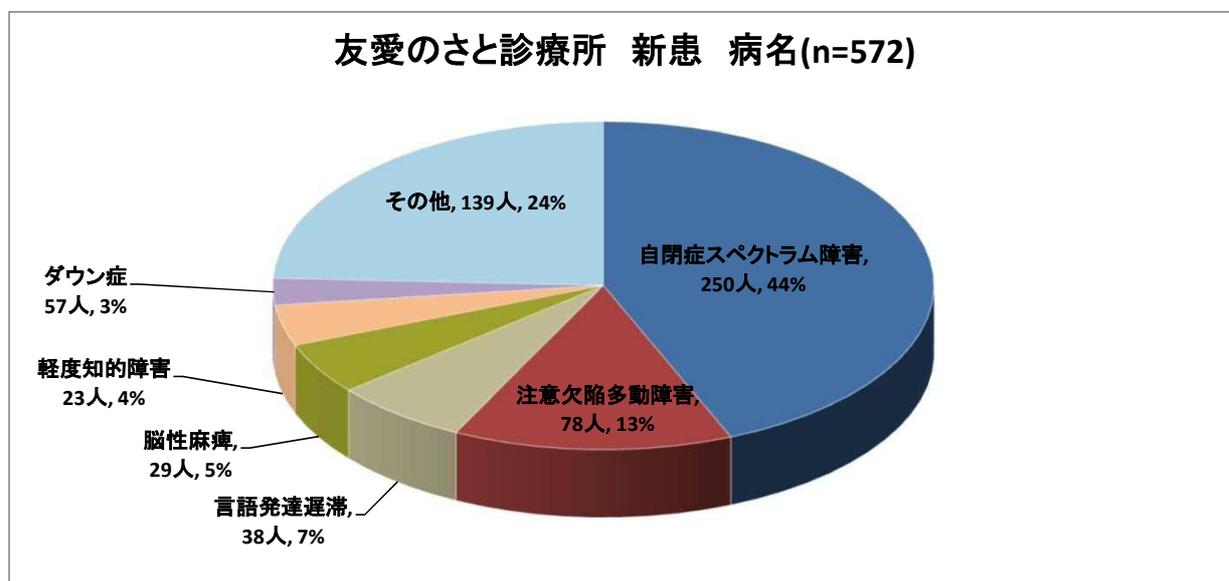
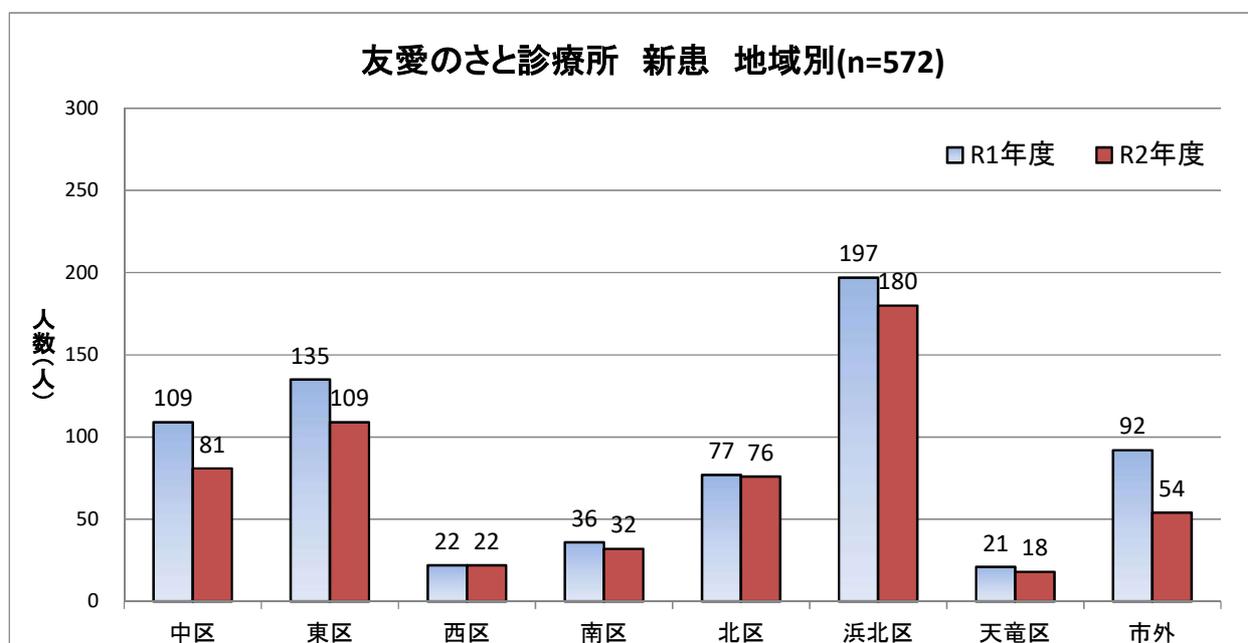
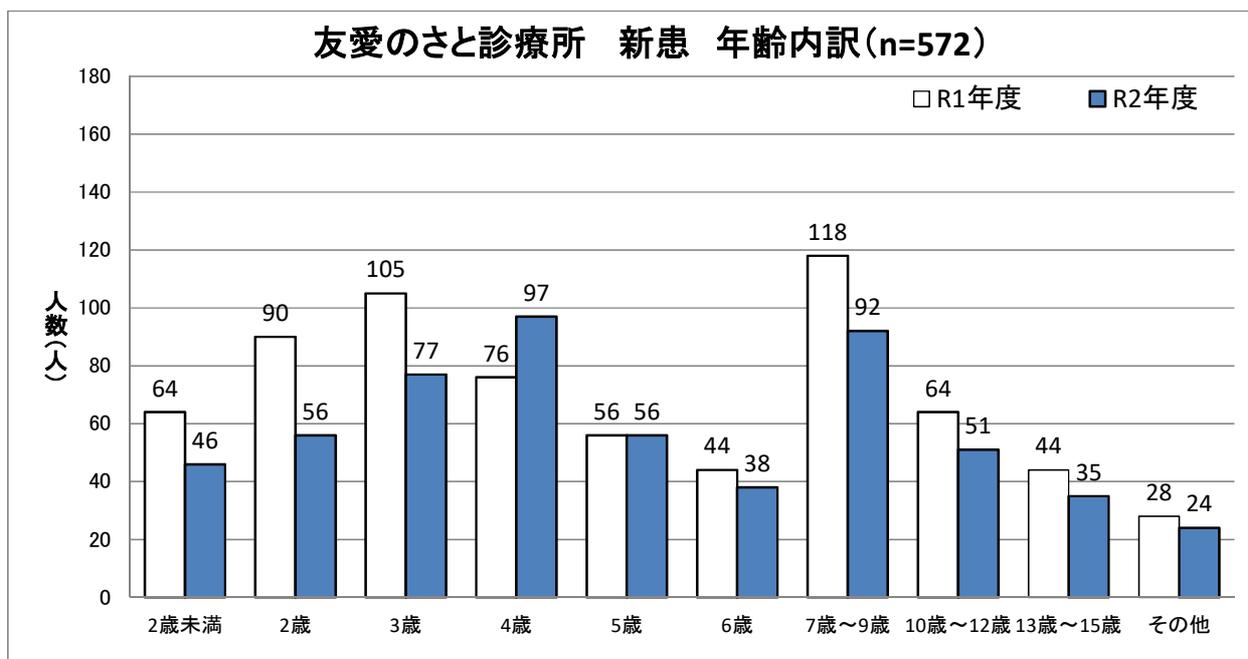
年齢別内訳では6歳以下が288人で全体の38%を占め、地域別内訳では中区が最も多く全体の40%、中区・西区・南区では72%を占めた。新患者の内93人に親治療を行い、親子並行治療にも積極的に取り組んだ。疾患別では自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動障害で全体の58%を占めた。

言語聴覚療法では、消毒等の新型コロナウイルス対策を取りながらも、保護者の相談担当が患児の訓練中に相談を行うことで、延べ人数は前年度比103.9%となった。

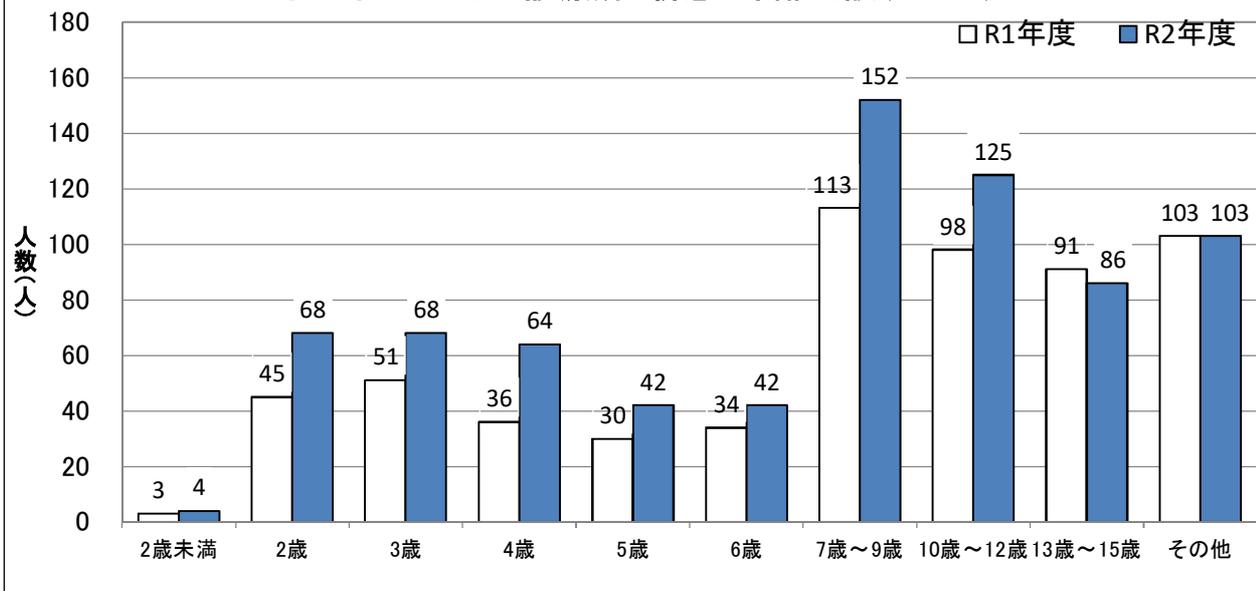
「児童発達支援事業所ひまわりころん」と月に一度カンファレンスを実施し、患児の情報とアセスメントの視点を共有し、発達支援に寄与できた。また、就学に向けた保護者への面談を行い、発達や就学について理解を深め、患児にとって効果的な訓練を実施した。

臨床心理では、子どもだけでなく母親や父親へのトラウマ治療を実施し、それに加えて親子関係や夫婦関係の調整を目的とした心理面接も実施した。個別心理療法の延べ人数は前年度と同程度であった。一方で、ペアレントトレーニングに関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団形式は実施しなかったが、個別形式に関しては前年度比109.6%と前年度を上回った。また、園や学校、児童相談所などの他機関との連携を行い、子どもの環境整備を行った。

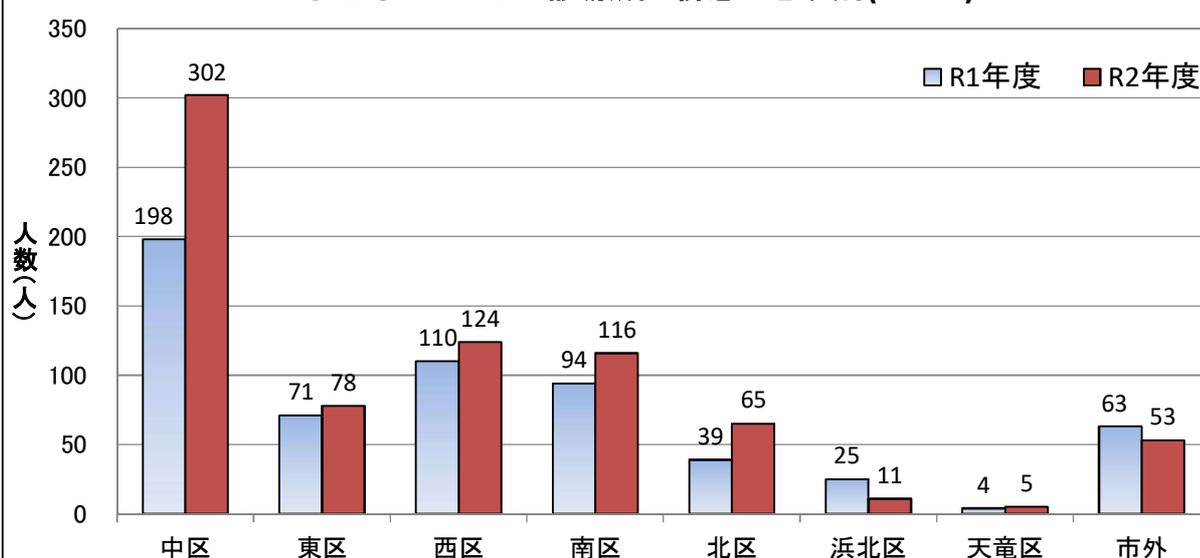
相談業務では、家庭基盤が脆弱なケースが多く、多機関による支援を要するケースが増えていることから、関係機関連携やケース会議への出席等は前年度比121.1%（3,845件）、新患の問い合わせは前年度比115.1%（967件）と共に増加した。警察からの依頼もあり、捜査関係事項照会書による対応については5件実施した。



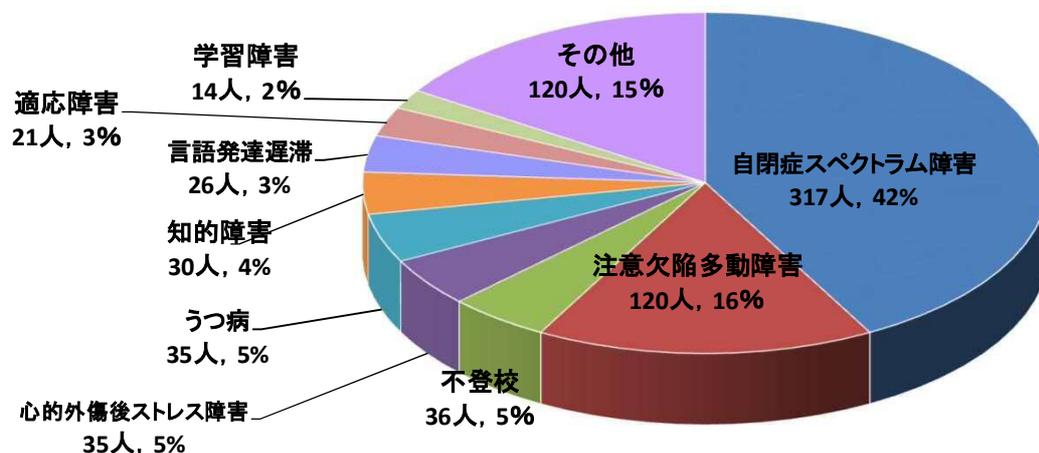
子どものこころの診療所 新患 年齢内訳(n=754)



子どものこころの診療所 新患 地域別(n=754)



子どものこころの診療所 新患 病名(n=754)



【 3 】 相談支援事業所シグナル

令和2年4月1日～令和3年3月31日

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第18項、19項、第77条第1項、児童福祉法第6条2の2第7項、浜松市障害者相談支援事業実施要綱、浜松市家庭訪問等個別支援事業実施要綱】

令和2年度

障害者自立支援法

障害者相談支援事業

指定特定相談支援事業

<利用対象者>

障害福祉サービスを利用する

すべての障がい児者

児童福祉法

障害児相談支援事業

障がい児の通所サービス利用

等の支援(障害児相談)

障害者虐待防止法

浜松市家庭訪問等個別支援事業

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
障害者相談支援	障害者相談支援事業	件	2,595	2,735	2,500	2,523	92.2%
	相談支援機能強化事業	件	92	81	110	48	59.3%
	住宅入居等支援事業	件	0	0	—	—	—
	相談支援事業所間の連絡調整	件	50	68	60	44	64.7%
指定特定相談支援 (計画相談支援)	サービス利用支援	件	88	89	100	100	112.4%
	継続サービス利用支援	件	284	267	300	331	124.0%
	連絡調整	件	1,291	1,422	1,200	1,748	122.9%
障害児相談支援 (計画相談支援)	サービス利用支援	件	1,451	1,499	1,300	1,176	78.5%
	継続サービス利用支援	件	3,119	3,574	3,700	3,712	103.9%
	連絡調整	件	12,344	13,017	11,000	13,805	106.1%
契約者数(計画相談)		人	1,474	1,774	—	1,910	107.7%
利用料金		円	80,036,105	92,140,747	86,400,000	101,130,765	109.8%
療育事業	インテーク面接(友愛のさと診療所初診時間診)	件	791	687	720	594	86.5%
	関係機関面談	件	25	12	20	7	58.3%
自主事業「啓発事業等」		件	4	6	4	12	200.0%

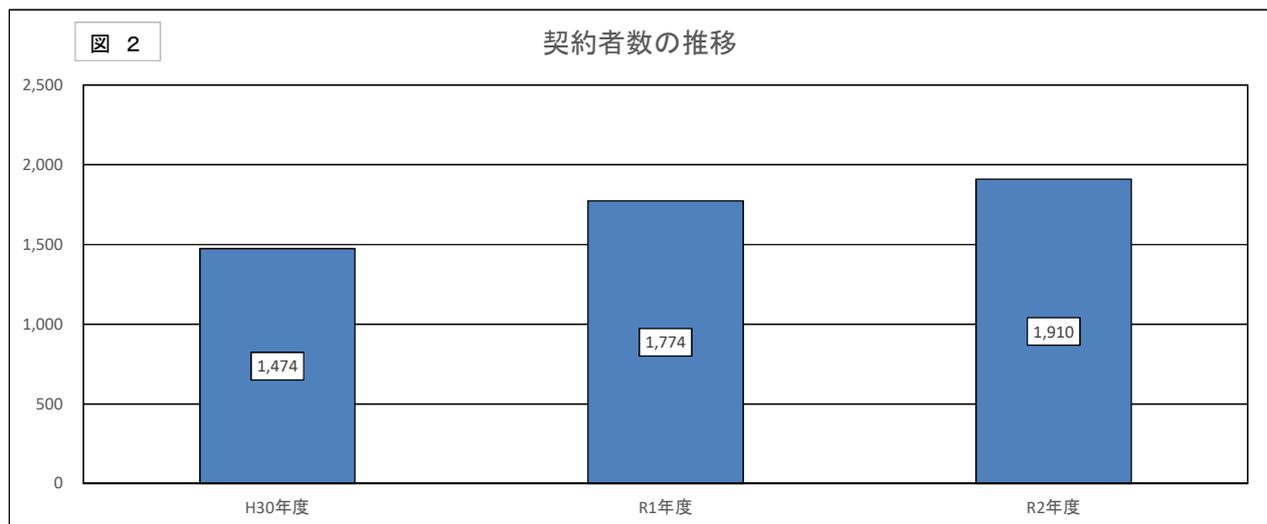
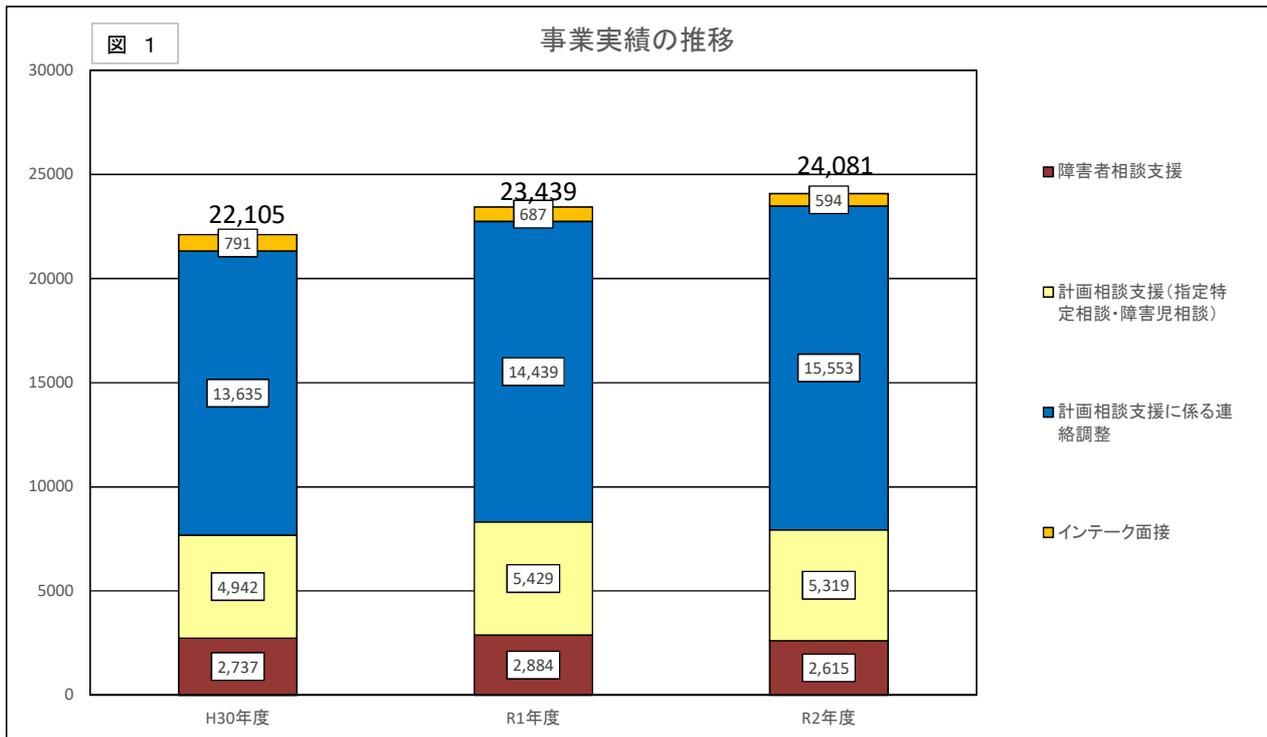
浜松市家庭訪問等個別支援事業	件	12	12	12	12	100.0%
----------------	---	----	----	----	----	--------

新型コロナウイルスの影響により、対前年度及び計画値を下回る事業があった。特に相談支援機能強化事業では、前年度まで定例で開催されていた他機関の研修会や会議が中止あるいは規模縮小されたことに伴い、講師の依頼など、指導助言をする機会が減少した結果となっている。一方で相談支援事業所への専門的な指導・助言並びに人材育成のための「障がい児相談支援研修」ではオンライン研修を導入し、多くの相談員等が参加した。

相談支援事業所間の連絡調整件数も対前年度及び計画値を下回っているが、浜松市相談支援専門員連絡会の運営に参画し、オンライン会議用ソフトの導入後は会議を主催し、他機関との連携強化を図った。

障害児相談支援のサービス利用支援や関係機関面談の実績が対前年度及び計画値を下回っているのは、年度当初に新型コロナウイルス対策による休園・休校期間があったことや、乳幼児健診が延期になったことなどが考えられる。

しかし、下半期は園・学校が通常通りとなったほか、乳幼児健診が再開され、たんぼぼ広場などからの紹介ケースや友愛のさと診療所初診待機が長期化する中で、待機期間中の相談支援対応などにより、シグナルの事業実績は増加傾向(図1)にあり、計画相談支援の契約者数(図2)も年々増加している。特に、診療所初診待機中に児童発達支援などのサービス調整を行うケースが増えた。



実施事業

相談支援機能強化事業 障がい児相談支援研修



自主事業 子どもの進路と生活を考える会



【 4 】発達相談支援センター「ルピロ」

【根拠法令等：発達障害者支援法第14条、浜松市発達障害者支援センター事業実施要綱】

※NPO法人しずおか・子ども家庭プラットフォームとの浜松市発達障害者支援センター運営事業特定業務委託共同企業体にて事業受託

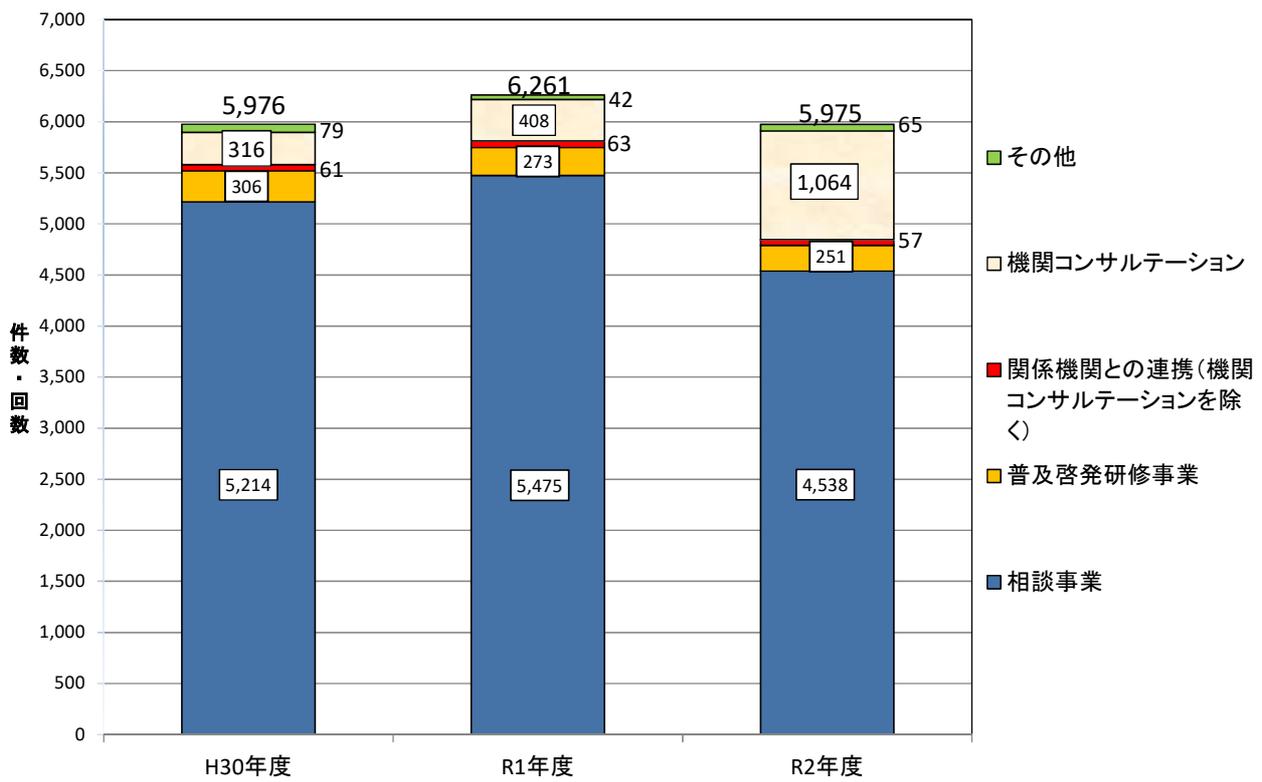
項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
相談事業 (相談支援・発達支援・就労支援)		支援件数	件	5,214	5,475	5,100	4,538	82.9%
市民向け情報発信		実施回数	件	4	3	3	2	66.7%
普及啓発 研修事業	研修講師派遣	実施回数	回	15	13	15	11	84.6%
	発達障害児 保健師研修会	実施回数	回	5	5	5	11	220.0%
	療育関連施設事業者向け事例検討会	実施回数	回	5	5	5	2	40.0%
	保育士、幼稚園教諭等への研修	実施回数	回	17	18	16	23	127.8%
	ペアレントプログラム	実施回数	回	50	47	24	29	61.7%
	発達支援の部屋の運営支援	実施回数	回	5	6	6	6	100.0%
	発達支援広場への技術的支援	実施回数	回	165	149	168	141	94.6%
	子育て支援ひろばへの支援	実施回数	回	26	18	15	16	88.9%
その他(支援者研修・外国人支援)	実施回数	回	18	12	随時	12	100.0%	
関係機関 等の連携	連絡協議会の開催	実施回数	回	1	2	2	2	100.0%
	連絡協議会の参加(県内・全国等)	実施回数	回	4	4	4	4	100.0%
	機関コンサルテーション	実施回数	回	316	408	500	1,064	260.8%
	連絡会等への参加	実施回数	回	56	57	50	51	89.5%
個別支援のための調整会議		支援件数	件	8	8	2	5	62.5%
個別支援のための研修会		支援件数	件	3	3	3	3	100.0%
その他(ポルトガル語情報発信 職員研修等)		実施回数	回	64	28	随時	55	196.4%
計		回数・件数		5,976	6,261	5,918	5,975	95.4%

相談事業の支援件数は、相談申込が減少したため支援件数が4,538件(対前年度比82.9%)となった。支援件数としては月別に見ても常に80%ほどであったが、3月は前年の107%となっている。新規相談の受理件数からみても4～5月が非常に少なく、緊急事態宣言解除後の6月には前年度並みに回復したものの、例年ピークを迎える7月の新規相談の受理件数は半減した。しかし、下半期の新規相談の受理件数は前年度より10%程増加しており、今後の相談件数は回復していくものと思われる。

関係機関等の連携では、機関コンサルテーションが1,064回(対計画比212.8%、対前年度比260.8%)と計画値及び前年度実績より大幅に増加した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり来所しての相談機会が減少したため、特に学校や行政機関等と密に連携し、支援が必要な方へのアウトリーチを積極的に行ったことによるものであり、今後も機関コンサルテーションの重要性が高まっていると考えている。

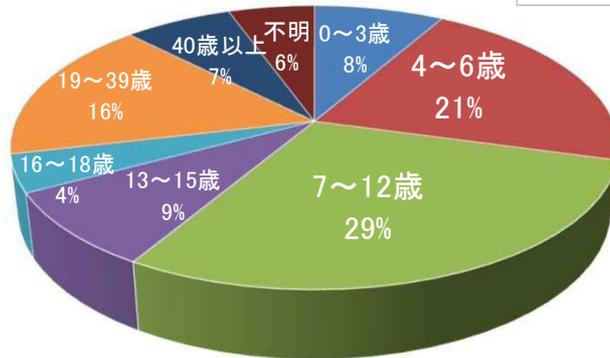
相談事業件数からみても新型コロナウイルス感染症の影響が無かったとは言い難く、学校生活、仕事や生活場面からも非対人場面の増加など、人との直接的なコミュニケーション機会が減少している中で、どのように困っている人たちへのアプローチをしていけるかや相談内容の変化への対応が必要となっている。

事業実績の推移



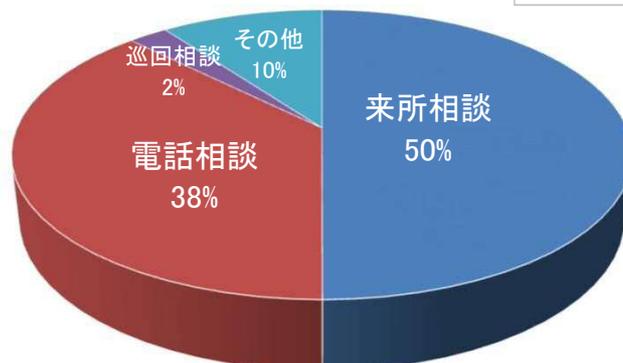
相談者の年齢層

実人数: 1,224人



支援方法

延べ人数: 4,538人



【 5 】 児童発達支援センター「ひまわり」

【根拠法令等：児童福祉法第6条2の2】

		定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	事業所管理者	児童発達支援管理責任者	計
毎日通園部	重症心身障がい児	10	4:1	3:1	7(6.4)	1	1	9(8.4)
	身体・知的・発達障がい児	55	4:1	4:1 (身体は3:1)	22(21.3)	兼務	1	23(22.3)
親子通園部	15	9(7.0)			兼務	1	10(8.0)	
合計		80	—	—	38(34.7)	1	3	42(38.7)

※()は常勤換算数

※事務職員(2)、管理栄養士(1)、兼務心理士(1)を除く

※発達支援広場、保育所等訪問支援事業、保育所等巡回支援事業に従事する兼務職員含む。

※毎日通園部は、年齢、障がい程度、発達状況に応じて「きらきら」(知的障がい児・発達障がい児)6クラス、「ぼかぼか」(重症心身障がい児・身体障がい児)2クラスで編成した。

《全体》(定員80人)

項 目		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比
施設利用状況 (毎日通園部+親子通園部)	定 員	人	80	80	80	80	100.0%
	開 所 日 数	日	230	230	231	234	101.7%
	契 約 者 数	人	240	253	247	246	97.2%
	延 べ 人 数	人	19,575	21,022	20,600	20,729	98.6%
	1 日 平 均	人	85.1	91.4	89.2	88.6	96.9%
	稼 働 率	%	106.4	114.3	111.5	110.7	96.9%
保育所等訪問支援	延 べ 人 数	人	336	329	340	403	122.5%
居宅訪問型児童発達支援	延 べ 人 数	人	23	42	110	63	150.0%
利用料金(自立支援費等収入)	円	215,092,822	234,761,863	229,193,000	237,020,469	101.0%	
1人あたりの平均単価	円	10,790	10,974	10,888	11,183	101.9%	

《毎日通園部》重症心身障がい児(定員10人)

項 目		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	100.0%
	開 所 日 数	日	230	230	231	234	101.7%
	契 約 者 数	人	15	16	17	18	112.5%
	延 べ 人 数	人	1,645	2,258	2,100	2,616	115.9%
	1 日 平 均	人	7.2	9.8	9.1	11.2	114.3%
	稼 働 率	%	71.5	98.2	90.9	111.8	113.9%

《毎日通園部》身体、知的、発達障がい児(重症心身障害児以外)(定員55人)

項 目		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	55	55	55	55	100.0%
	開 所 日 数	日	230	230	231	234	101.7%
	契 約 者 数	人	75	71	70	70	98.6%
	延 べ 人 数	人	13,549	14,174	14,100	14,257	100.6%
	1 日 平 均	人	58.9	61.6	61.0	60.9	98.9%
	稼 働 率	%	107.1	112.0	111.0	110.8	98.9%

○ ぼかぼか(重症心身障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	6	3	4	1	0	4	0	0	0	0	0	18
年齢別	～4歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)				性別	男	女		
	0	6	6	6					11	7		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	16	2	0	0	0	5	0	0	0	0		

○ ぼかぼか(身体障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	1	4	0	1	1	3	0	0	0	0	0	10
年齢別	～4歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)				性別	男	女		
	0	4	5	1					5	5		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	5	0	0	0	0	2	4	0	0	0		

○ きらきら(知的、発達障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	9	21	0	5	4	20	1	0	0	0	0	60
年齢別	～4歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)				性別	男	女		
	0	17	23	20					52	8		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	1	0	0	0	0	8	30	0	0	0		

○ 医療的ケアの状況

医療的ケア	注入	吸引	導尿	呼吸器	酸素	その他	合計
	8	6	1	3	2	2	22

※利用児により医療的ケアの実施が重複している場合もある

○ 入園経路の状況

	発達支援 広場	外来 早期G	外来 早期G	ひまわり親子 ※			ひまわり親子・ひつじ・くじら ※					幼稚園		保育園		児発	認定 こども園	その他	合計	
	センター 型	施設 型	もぐもぐ	パンダ	すくすく	こぐま	きりん	幼稚園 公立	幼稚園 私立	保育園 公立	保育園 私立	認定こども園	公立	私立	公立					私立
ぼかぼか 重症心身障がい児	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	18
ぼかぼか 身体障がい児	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	10
きらきら	0	0	0	0	1	0	44	2	0	0	2	1	1	1	0	0	2	1	5	60
合計	0	0	0	13	1	5	46	2	0	0	2	1	1	1	0	0	3	1	12	88

※ひまわり親子通園部のグループは、「ひまわりひくまの丘」の利用児も含む

○ 進路の状況

		一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学				児発	ひまわり 継続	その他	合計
		幼稚園		保育園			認定 こども園	特別支援 学校	発達支援 学級	通常 学級				
		公立	私立	公立	私立	公立								
ぼかぼか 重症心身障がい児		0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	13	0	18
ぼかぼか 身体障がい児		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9	0	10
きらきら		0	3	0	0	0	7	13	0	0	1	36	0	60
合計		0	3	0	0	0	13	13	0	0	1	58	0	88

☆ 毎日通園 保護者支援事業「ペアレントトレーニング」

項 目	単位	延べ参加人数	対応職員数	職種	
ペアレントトレーニング前期1コース6回	延べ人数	人	66	8	公認心理士・保育士
ペアレントトレーニング後期1コース8回(2グループ)	延べ人数	人	88	8	公認心理士
ペアレントトレーニングアフターフォロー1コース3回	延べ人数	人	18	3	公認心理士
合計3コース(4グループ)17日実施	人		172	19	

内容:子どもへのほめ方、対応の仕方など親自身の子育て技術の向上をめざしての勉強会

☆ 新規発達支援学級担当教員研修の受け入れ

項 目	実施月日	外部参加人数	内容
新規発達学級担当教員研修			浜松市教育センターからの連絡により新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。

《親子通園部》(定員15人)

項 目	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比	
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	15	15	15	15	100%
	開 所 日 数	日	230	230	231	234	101.7%
	契 約 者 数	人	166	166	160	158	95.2%
	実 施 回 数	回	633	641	617	665	103.7%
	延 べ 人 数	人	4,381	4,590	4,300	3,856	84.0%
	1 回 平 均	人	6.9	7.2	7.0	5.8	80.6%
	1 日 平 均	人	19.0	20.0	18.6	16.5	82.5%
稼 働 率	%	127.0	133.0	124.1	109.9	82.6%	

地域別	浜松市							磐田市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	19	37	2	7	7	72	13	1	0	158	
年齢別	~1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性別	男	女	合計
	0	3	82	11	33	29	158		117	41	158
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし						
	2	14	0	0	142						

グループ名	区 分	グループ構成
こぐま(1)	就園前のグループ	染色体疾患や運動発達の遅れがあり、年度内に3歳になる児のグループ
きりん(8)		
ひつじ(5)	並行通園グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
くじら(2)		

※()はグループ数

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	グループ継続	その他(海外転居等)	合計
	幼稚園		保育園		認定 こども園	特別支 援学校	発達支 援学級	通常学級				
	公 立	私 立	公 立	私 立								
こぐま、きりん	9	14	0	9	17	0	0	0	26	3	7	85
ひつじ、くじら	10	11	1	1	18	0	8	21	2	0	1	73

《居宅訪問型児童発達支援事業》

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
居宅訪問型児童発達支援事業	実 人 数	人	3	2	3	3	150.0%
	延べ実施回数	回	23	42	110	63	150.0%
	延べ人数	人	23	42	110	63	150.0%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	
	1	0	1	1	0	0	0	3
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)		合計
	0	0	0	1	1	1		3
性別	男	女	合計					
	1	2	3					

○ 進路の状況

進路先	就学	児発	継続	その他	合計
利用児	1	1	1	0	3

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	267	291	260	284	97.6%
	延べ実施回数	回	336	329	340	403	122.5%
	延べ人数	人	336	329	340	403	122.5%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市								森町	磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区							
	29	66	7	13	31	128	9	0	1	0	0	0	284	
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	小学生	中学生	高校生	合計				
	0	1	13	46	42	44	133	5	0	284				
性別	男	女	合計											
	226	58	284											

○ 訪問支援先の状況

訪問先	幼稚園		保育園		認定 こども園	小学校		中学校		特別支援学校		合計
	公立	私立	公立	私立		通常級	支援級	通常級	支援級	幼稚部	小学部	
併行通利用児	12	12	4	7	24	0	0	0	0	0	0	59
そ の 他	17	29	3	4	32	73	59	3	2	1	2	225
計	29	41	7	11	56	73	59	3	2	1	2	284

《自主事業》

項目	事業内容	実施予定日	実施件数
(1)地域支援1 まともり食・ミキサー食勉強会	まともり食・ミキサー食の勉強会(地域の保護者対象)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
(2)地域支援2 発達に特性をもつ児と関わる児童発達支援事業所職員等の勉強会	地域の児童発達支援事業所職員等を対象に、講演会(米澤好史先生による「愛着障害と発達障害」について)をWeb配信により実施	2月12日	参加者 82名

《児童発達支援事業》

日常活動や行事において安全衛生に注意を払い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組んだ。
 ・毎日通では、年度当初は登園を自粛した家庭があったが、6月ごろより出席率が上がり安定した状況となった。ひまわりと家庭が共に生活リズムを整えて健康管理、安全対策に心がけてきたことがうかがえる。

・親子通は、4月は個別面談を、5月からは新型コロナウイルスの感染状況をみながら2グループに分け人数を減らして実施した。秋以降は本来のグループ編成としたが、年間を通して手づくりおやつ提供を見合わせた。

・毎日通・親子通ともに、家庭との連携として、利用児が「ひまわり」の中でできていることと家庭で行えていることを共通理解する機会をもち、家庭での困ったことの相談を受け、具体的な方法を提案する支援を実施した。

《居宅訪問型児童発達支援》

4～6月は新型コロナウイルス感染症予防を理由に訪問回数を減らした家庭があったこと、また年度途中で毎日通園部へ移行した利用児がいたことから延べ回数は計画を下回った。ひまわりの職員が訪問して支援を行うことで、家庭だけでは経験することが難しい保育的活動や家族以外の人と関わる機会を作った。

《保育所等訪問支援事業》

新型コロナウイルスの影響で4月・5月は実施せず、6月から緊急性の高いケースから開始した。

・自粛が緩和され学校に登校するようになってから小学生のケースが多くなった。自粛中の家庭生活と学校生活のギャップのためか、特に1年生は新しい環境で混乱がみられた。

・今年度は、特定の幼稚園に在籍している複数園児について、月2回のペースで訪問しグループ支援を実施した。毎回保護者にも参加してもらい、ペアレントトレーニングの手法を取り入れグループワークを実施した。園の先生方と「特性や対応方法について共通理解を図った。

活動の様子

設定活動の場面(紙ずもう)



手づくりおもちゃを使って机上あそび



生活発表会(当日無観客でWeb配信)



居宅訪問型児童発達支援事業(卒園式)



【 6 】浜松市委託事業（浜松市発達支援広場事業、浜松市保育所等巡回支援事業）

☆浜松市保育所等巡回支援事業

項 目	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
保育所等巡回 延べ回数	回	312	384	300	435	113.3%

訪問先	幼稚園		保育園		認定こども園	認証 保育所	小規模 保育事業	事業所 内保育 事業	企業主 導型保 育事業	認可外 保育施 設	放課後 児童会	合 計
	公 立	私 立	公 立	私 立								
実施回数	74	55	16	66	113	11	30	2	39	27	2	435

※実施回数には、依頼による支援及び事業説明による実績を含む

申し込みの対象児としては、ひとり親家庭や保護者が外国籍の割合が前年度と比べて増加している。園からの相談として、クラスの運営についての相談が増えている。保護者面談は増加傾向にあり、主な相談内容としては家庭内での子どもへの困り感や療育・受診に関することが多く、園の対応や支援は面談の中で保護者や園と共有することができた。

☆浜松市発達支援広場事業(たんぼぼ広場)

項 目	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比		
中 央 保 健 福 祉 社	発達支援広場 (センター型)	開催回数	回	40	38	40	40	105.3%
		参加組数	組	77	67	20	57	85.1%
		延べ参加組数	組	716	574	800	305	53.1%
		延べ人数	人	1,438	1,173	1,600	628	53.5%
		1回平均	組	17.9	15.1	20	7.6	50.3%
	医師相談	実施人数	人	26	22	—	18	81.8%
	心理相談	実施人数	人	22	21	—	22	104.8%
セ 浜 北 保 健 社	発達支援広場 (センター型)	開催回数	回	40	36	40	40	111.1%
		参加組数	組	89	72	20	52	72.2%
		延べ参加組数	組	733	544	800	281	51.7%
		延べ人数	人	1,515	1,087	1,600	566	52.1%
		1回平均	組	18.3	15.1	20	7.0	46.4%
	医師相談	実施人数	人	24	24	—	18	75.0%
	心理相談	実施人数	人	25	23	—	22	95.7%
友 愛 の さ と	発達支援広場 (施設型)	開催回数	回	81	77	80	78	101.3%
		参加組数	組	47	47	45	48	102.1%
		延べ参加組数	組	816	653	800	679	104.0%
		1回平均	組	10.1	8.5	10.0	8.7	102.4%

新型コロナウイルス感染防止対策のため1グループあたりの人数を制限して実施したこと、また1歳6ヶ月健診を中止した時期があったため、たんぼぼ広場へ紹介する機会が少なかったことが参加人数の減少理由となっている。一方、参加人数が少なかったことで参加者からの相談は多く受けることができた。

【 7 】 児童発達支援事業所 「ひまわりひくまの丘」

【根拠法令等： 児童福祉法第6条2の2 】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	児童発達支援 管理責任者	管理者	計
親子通園	10	5:1	5:1	4	1		5(5.0)

※()は常勤換算数

※保育所等訪問支援事業、保育所等巡回支援事業に従事する兼務職員含む。

《親子通園》(定員10名)

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	100.0%
	開 所 日 数	日	237	231	236	233	100.9%
	契 約 者 数	人	111	109	90	110	100.9%
	実 施 回 数	回	427	418	406	428	102.4%
	延 べ 人 数	人	2,651	2,463	2,550	2,468	100.2%
	1 日 平 均	人	11.2	10.7	10.8	10.6	99.3%
	稼 働 率	%	111.9	106.6	108.1	105.9	99.3%
保育所等訪問支援	延べ人数	人	95	96	95	74	77.1%
利用料金(自立支援費等収入)		円	31,605,561	30,361,942	31,769,000	30,074,307	99.1%
1人あたりの平均単価		円	11,510	11,865	12,011	11,831	99.7%

○ 親子通園(児童発達支援)の状況

地域別	浜松市							合計	性別	男	女	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	69	27	2	4	2	5	1	110				
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	110	性別	90	20	110
	0	0	41	23	27	19						
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし	合計						
	1	5	0	0	104	110						

グループ名	区 分	グループ構成
きりん(4)	就園前のグループ	発達に遅れや偏りを伴い、年度内に3歳になる児のグループ
ひつじ(5)	並行通園グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
キラピーノ(2)	並行通園グループ	前年度グループを終了した児のフォローアップ・保護者同士の情報交換の場

※グループ名横の()はグループ数

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	グループ 継続	その他 (海外 転居 等)	合計
	幼稚園		保育園		認定 こども 園	特別 支援 学校	発達 支援 学級	通常 学級				
	公立	私立	公立	私立								
親子通園部 (きりん)	0	29	0	3	5	0	0	0	2	0	2	41
親子通園部 (ひつじ)	1	18	2	8	11	0	2	10	0	0	0	52
親子通園部 (キラピーノ)	1	10	0	0	4	0	1	1	0	0	0	17

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	79	88	95	74	84%
	延べ実施回数	回	95	96	95	74	77%
	延べ人数	人	95	96	95	74	77%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	41	18	2	5	2	5	1	0	0	0	0	0	74
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	7歳以上	性別	男	女	合計		
	0	0	10	15	27	17	5		60	14	74		
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし								
	0	5	0	0	69								

○ 訪問支援先の状況

訪問先	幼稚園		保育園		認定こども園	小学校	中学校	特別支援学校	合計
	公立	私立	公立	私立					
親子通園部利用児	1	23	1	10	18	0	0	0	53
その他	1	7	1	5	2	5	0	0	21
計	2	30	2	15	20	5	0	0	74

《親子通園》

4月・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見合わせたグループがあったり個別対応を行ったことにより延べ利用人数は減少した。しかし、個別対応を行ったことで子どもへのアセスメントや保護者との信頼関係の構築に十分な時間を充てることができ、その後の支援をより効果的に進めることができた。また、保護者にとっても家庭での対応方法についてより具体的な支援を受けることができるため、継続した個別支援を望む声が多かった。後期も更に感染予防に努めて安定した出席率となった。並行グループに関しては、就学までのグループの継続希望や他事業所を並行利用する保護者が増えている。

《保育所等訪問支援》

新型コロナウイルス感染防止のため4月・5月は実施を見合わせ回数は減少した。6月からは保育園等に状況を確認しながら訪問を再開した。新型コロナウイルスの影響により園等が休園したことで、リズムが崩れ、普段の生活に影響を受けた利用児も多く、訪問支援の希望が増えている。

活動の様子

サーキット



ゲームあそび



【 8 】児童発達支援事業所「ひまわり こころん」

【根拠法令等：児童福祉法第6条の2の2】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	児童発達支援管理責任者	管理者	計
毎日通園	10	5:1	5:1	3	1		4(4.0)

※()は常勤換算数

《毎日通園》(定員10名)

項 目		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	100.0%
	開 所 日 数	日	231	231	233	234	101.3%
	契 約 者 数	人	11	12	10	11	91.7%
	延 べ 人 数	人	1,955	2,199	2,200	2,176	99.0%
	1 日 平 均	人	8.5	9.5	9.4	9.3	97.7%
	稼 働 率	%	84.6	95.2	94.4	93.0	97.7%
保育所等訪問支援	延 べ 人 数	人	12	9	10	6	67%
利用料金(自立支援費等収入)		円	22,340,347	23,923,452	26,523,000	25,164,731	105.2%
1人あたりの平均単価		円	11,358	10,835	12,001	11,533	106.4%

○ 毎日通園(児童発達支援)の状況

地域別	浜松市							合計	性別	男	女	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	6	0	4	1	0	0	0	11				
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	11	10	1	11	
	0	0	2	1	1	7						
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし	合計						
	0	7	0	0	4	11						

○ 入園経路の状況

発達支援広場		外来 早期G	外来 早期G	ひまわり 親子	ひまわり 親子	ひまわり 親子	ひまわり親子 ・ひつじ		ひまわり親子 ・ひつじ		幼稚園		保育園		児発		診療所	合計
センター型	施設型	もぐもぐ	パンダ	すくすく	こぐま しろくま	きりん	幼稚園 公立	幼稚園 私立	保育園 公立	保育園 私立	公立	私立	公立	私立	親子通	単独		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	11

○ 進路の状況

一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	こころん 継続	その他 (海外転居 等)	合計
幼稚園		保育園		認定こども園	特別支 援学校	発達支 援学級	通常 学級				
公立	私立	公立	私立								
0	1	0	0	0	3	3	0	0	4	0	11

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	6	5	5	3	60.0%
	延べ実施回数	回	12	9	10	6	66.7%
	延 べ 人 数	人	12	9	10	6	66.7%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	7歳以上	性 別	男	女	合計
	0	0	0	1	1	1	0		1	2	3
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし						
	0	0	0	0	3						

○ 訪問支援先の状況

幼 稚 園		保 育 園		認定 こども園	小学校	中学校	特別支援 学校	合計
公 立	私 立	公 立	私 立					
0	2	0	0	1	0	0	0	3

基本的な生活習慣の獲得、小集団による集団生活の社会的スキルの向上を狙い、環境の構造化や視覚支援などを取り入れ、わかりやすい環境の中で自分でできることを増やしていく取り組みを行った。子どものこころの診療所と連携して定期的なカンファレンスを行いながら集団療育を行うことで、子どものアセスメントをより正確に行うことができ、スキルの獲得や問題行動の緩和を図ることができた。また、言語聴覚士による個別訓練の目標と集団療育の目標のすり合わせをきめ細かく行うことで療育効果を上げることができた。連携することで家庭支援にも効果が見られた。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためおもちゃや各部屋の消毒を徹底した。集団療育活動は分散して行い、個別の家庭支援の充実を図った。個別家庭支援のニーズは新入園児が多く、対応も多かった。

活動の様子

地域との連携

鴨江保育園での園庭遊び



【 9 】 生活介護・就労継続支援施設「かがやき」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第7項・14項】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
生活介護(パステル)	40	5:1	5:1	12(11.8)	1	2(1.5)	15(14.3)
就労継続支援B型(グリーン)	10	7.5:1	6:1	2(2.0)	生活介護と兼務	生活介護と兼務	2(2.0)
合計	50	—	—	14(13.8)	1	2(1.5)	17(16.3)

※()は常勤換算

《生活介護(パステル)》(定員40名)

項目	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	243	242	243	242	100.0%
	契約者数	人	51	52	51	50	96.2%
	延べ人数	人	10,876	10,973	11,500	10,974	100.0%
	1日平均	人	44.8	45.3	47.3	45.3	100.0%
	稼働率	%	111.9	113.4	118.3	113.4	100.0%
利用料金(自立支援費等収入)	円	97,896,952	106,791,010	110,400,000	113,375,982	106.2%	
1人あたりの平均単価	円	9,001	9,732	9,600	10,331	106.2%	

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	1	特別支援学校高等部卒業生
退所者	3	6月男性1名(他施設入所)・3月男性2名(他施設入所・就労継続へ移行)
増減	△2	

○ 「生活介護(パステル)」利用者の状況

地域別	浜松市							磐田市			合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	16	12	2	2	6	11	0	1			50	
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女		
	1	16	7	20	5	1		32	18			
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分					
	16	16	18	0	0	0	4.86					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	6	2	1	1	0	48	2	1	0	0	11	0

《就労継続支援B型(グリーン)》(定員10名)

項目	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	243	242	243	242	100.0%
	契約者数	人	10	9	10	10	111.1%
	延べ人数	人	2,060	1,854	2,300	1,876	101.2%
	1日平均	人	8.5	7.7	9.5	7.8	101.3%
	稼働率	%	84.8	76.6	94.7	77.5	101.2%
利用料金(自立支援費等収入)	円	14,416,164	13,257,822	16,445,000	13,487,299	101.7%	
1人あたりの平均単価	円	6,998	7,151	7,150	7,189	100.5%	

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	1	3月同施設生活介護から移行
退所者	0	
増減	1	

○「就労継続(グリーン)」利用者の状況

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	3	3	2	0	1	1	0				10	
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上		4	6		
	0	0	3	7	0	0	0					
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分未判定					
	0	0	0	6	1	0	3					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令や市内の感染状況により、利用を自粛する利用者があり、生活介護・就労継続ともに実績は計画を下回った。利用者の精神的な安定を図るため、感染予防を実施しながら、日課や行事を変更・縮小するなどして支援を行った。季節行事は少人数の2部制にするなどの工夫をし、「クリスマス会」など実施することが出来た。「わごむ」ブランドの新商品の開発として、エコバッグの販売を開始した。無地の布製のエコバッグに利用者オリジナルのイラストを描いた一点ものは好評であったが、販売会等が中止となったため、センター内の販売を積極的に実施した。

《生活介護》4月に特別支援学校を卒業した男性1名が週1日の利用を開始し契約者は53名となったが、6月と3月に各1名が入所施設へ、3月に1名が同施設の就労継続支援へ転出したため契約者は50名となった。例年通りの社会体験の実施が難しいため、少人数で「浜名湖ガーデンパーク」への外出体験に切り替えた。強度行動障害支援は4名に重度支援を行った。支援計画シートの見直しなど担当者会議を進め、安心して落ち着いて過ごせるような支援を継続した。

《就労継続》新規利用者の募集は継続していたが、9名でスタートした。3月に生活介護から1名移行してきて契約者が10名となったことや、新型コロナウイルス感染症を警戒し自粛する利用者も少なく、延べ利用者数としては前年度と変わらない利用実績となった。作業内容は新型コロナウイルス感染症の影響が少ない清掃作業を中心に下請け作業やアート製品販売に取り組んだ。受託作業では、感染症の影響をあまり受けることもなく平均工賃は前年より減ったものの1万円以上を維持することが出来た。

活動の様子

かがやき オリジナルエコバッグ



クリスマス会



外出体験 ガーデンパーク



【 10 】 就労継続支援施設「はばたき」

【根拠法令等：障害者総合支援法第5条第14項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
20	7.5:1	6:1	4(3.9)	1	1	6(5.9)

※()は常勤換算

項 目	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度計画	令和2年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	244	242	244	241	99.6%
	契約者数	人	32	32	32	30	93.8%
	延べ人数	人	5,308	5,132	5,400	4,601	89.7%
	1日平均	人	21.8	21.2	22.1	19.1	90.1%
	稼働率	%	108.8	106.0	110.7	95.5	90.1%
利用料金(自立支援費等収入)	円	43,607,616	42,731,350	44,820,000	38,846,868	90.9%	
1人あたりの平均単価	円	8,215	8,326	8,300	8,443	101.4%	

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	0	
退所者	2	死去1名 他施設へ移行1名
増減	△2	

○ 利用者の状況

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	4	12	2	5	0	7	0				30	
年齢別	16歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上					
	0	7	3	11	5	1	3	17	13			
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分未判定					
	2	2	2	7	2	0	15					
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級			3級
	11	9	0	1	1	1	8	0	2	0	3	0

新型コロナウイルス感染症予防のための利用自粛や、他施設への入所等による退所者2名があり、延べ人数は減少した。

新型コロナウイルス感染症により就労支援事業は大きく影響を受け、作業収入は、前年比50.2%と大幅な減収となった。はばたきの主力製品である軒花は地域のお祭りが中止となり売上が激減し、収入額は前年度比14.3%となった。喫茶事業は4月・5月の間は感染防止の観点から休業し、6月に再開したが密を避けるために座席数を減らし、カウンターをスクリーンで囲うとともに利用者離席後の消毒を徹底した。販売事業は密を避けるため販売量を抑えながら、地域の農産物の他、とうもろこしやスイーツなど喜ばれる商品の販売を行った。陶芸は地域の販売イベントはなくなったが、はばたき利用者がSNSで自らの製品を紹介したところ猫の箸置きが大人気となり、利用者とSNSで繋がっている方が直接来所したり、わごむHPからの注文があり、売上は、前年度比114.6%と増加した。また、軒花作業に代わる新規作業の開拓に取り組み、企業の受託作業を受注して実施した。

喫茶わいわい(感染予防)



猫の箸置き(陶芸製品/わごむ)



新規作業(受託)



【 11 】 障害者生活介護施設「ふれんず」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第7項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
20	3:1	1.7:1	17(13.3)	1	1	19(15.1)

※()は常勤換算

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
施設利用状況	開所日数	日	243	242	243	242	100.0%
	契約者数	人	29	31	32	29	93.5%
	延べ人数	人	4,832	5,008	5,150	4,972	99.3%
	1日平均	人	19.9	20.7	21.2	20.5	99.3%
	稼働率	%	99.4	103.5	106.0	102.7	99.2%
利用料金(自立支援費等収入)		円	83,575,295	86,940,712	89,095,000	87,101,623	100.2%
1人あたりの平均単価		円	17,296	17,360	17,300	17,518	100.9%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	2	西部特別支援学校高等部卒1名 在宅1名
退所者	4	死去2名 施設入所1名 他施設変更1名
増減	△2	

○ 利用者の状況

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上		13	16	29	
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分					
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持		手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級	23	0
	24	5	0	0	0	23	0	0	0	0		

新型コロナウイルス感染症の影響により土曜日の行事が中止になり、開所日が減少した。今年度は新規利用者が2名あったが、他施設への入所等により4名の退所があり、契約者は29名と減少した。感染症予防のため外出体験を自粛し、タブレットを利用して絶景スポットや季節の風景、歌フェスタなどの模擬体験を実施した。目で見ると映像や歌などにより、利用者の表情が穏やかになり笑顔が多かった。また、密を避けるために小グループでの活動に変更し、ミニ運動会、夏祭り、クリスマスパーティー、節分の会など季節感のある活動を取り入れた。利用者の健康診断を3月に実施し、健康管理を丁寧に行うことで安定した施設利用へとつながった。医療的ケアの必要な利用者は2名減り12名となった。呼吸器を装着している利用者の1名が自粛による長期欠席が続いたため、月2回、家庭訪問により季節感のある制作などの活動を行い、社会的な孤立が起こらないように個別支援を実施した。

活動の様子

タブレットを使用した活動



体育館でのミニ運動会



【 12 】 地域活動支援センター「オルゴール」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第27項、浜松市地域活動支援センターⅡ型事業実施要綱】

定員	所定配置基準	直接処遇職員	事業所管理者	計
15	要綱による	3(3)	0.5(兼務)	3.5(3.5)

※()は常勤換算

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
施設利用状況	実施日数	日	243	240	244	242	100.8%
	契約者数	人	52	48	50	50	104.2%
	延べ人数	人	3,585	3,072	3,660	2,764	90.0%
	1日平均	人	14.8	12.8	15.0	11.4	89.1%
	稼働率	%	98.4	85.3	100.0	76.1	89.2%
利用料金(受託事業等収入)		円	17,695,200	15,257,800	18,154,000	13,713,400	89.9%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	4	在宅
退所者	2	在宅1名(病気療養) 介護保険サービスへ移行1名
増減	2	

○ 利用者の状況

地域別	浜松市							磐田市			合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区		性別	男		女
	11	15	3	4	1	14	1	1			50	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上					
	0	6	3	9	8	5	19	23	27			
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分 未判定					
	3	4	2	5	5	0	31					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	21	12	3	3	2	1	5	1	3	0		

高齢の利用者2名が退所したが、新規利用者4名があり契約者数は増加した。新型コロナウイルス感染症対策のため6月まで教室活動を休止したことにより、教室参加を目的としている利用者の欠席や感染予防のための利用自粛があり、利用人数は減少した。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、近隣小学校との福祉交流会や地域へのイベント参加等の交流事業を中止した。

基礎的事業として、感染症予防を含めた健康チェックや季節に合わせた創作活動を実施するとともに、機能強化事業として、脳トレーニングゲームや体操等の諸活動、絵手紙、パソコン、ケア体操等外部講師による教室活動を実施した。新型コロナウイルス感染予防のため外出活動を中止したが、近くの公園への散歩や昼食に地域の飲食店のテイクアウトを注文する等、安全が確保でき、気分転換ができる活動を実施した。

また、生活介護や就労事業等の自立支援給付事業所に適応できない利用者を、体験利用も含め、相談支援事業所と連携して受け入れ、新規利用に繋げた。

活動の様子

花見(竜南緑地公園)



創作合同作品(アマビエ)



近隣の飲食店からのテイクアウト



令和2年4月1日～令和3年3月31日

【 13 】 身体障害者福祉センター

【根拠法令等:身体障害者福祉法第31条】

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比
趣味余暇活動としての講座	開催回数	回	237	231	233	176	76.2%
	延べ人数	人	1,928	1,940	2,560	1,341	69.1%
	1回平均	人	8.1	8.4	11.0	7.6	90.7%
レクリエーションのための 便宜の供与	実施回数	回	38	21	16	15	71.4%
	延べ人数	人	385	318	100	110	34.6%
	1回平均	人	10.1	15.1	6.3	7.3	48.4%

今年度は、10講座を計画していたが、新型コロナウイルス対策のため6月まで全講座を休止した。6月以降、消毒、検温、健康確認、換気等感染予防対策を講じた上で8講座については再開したが、感染リスクが高い「カラオケ講座」「健康吹き矢講座」は中止した。休止の影響で、開催回数及び延べ人数は減少した。新規に実施した「親子書き方講座」をはじめ、「親子英会話講座」「親子水泳講座」等の親子で参加できる子どもを対象とした講座は、希望者が多く、好評であった。
レクリエーションのための便宜の供与としての講座OBの自主講座は、新型コロナウイルス対策により4月から11月まで休止した。

【 14 】 障害者体育館・プール

※ 利用者数には介助者を含みます。

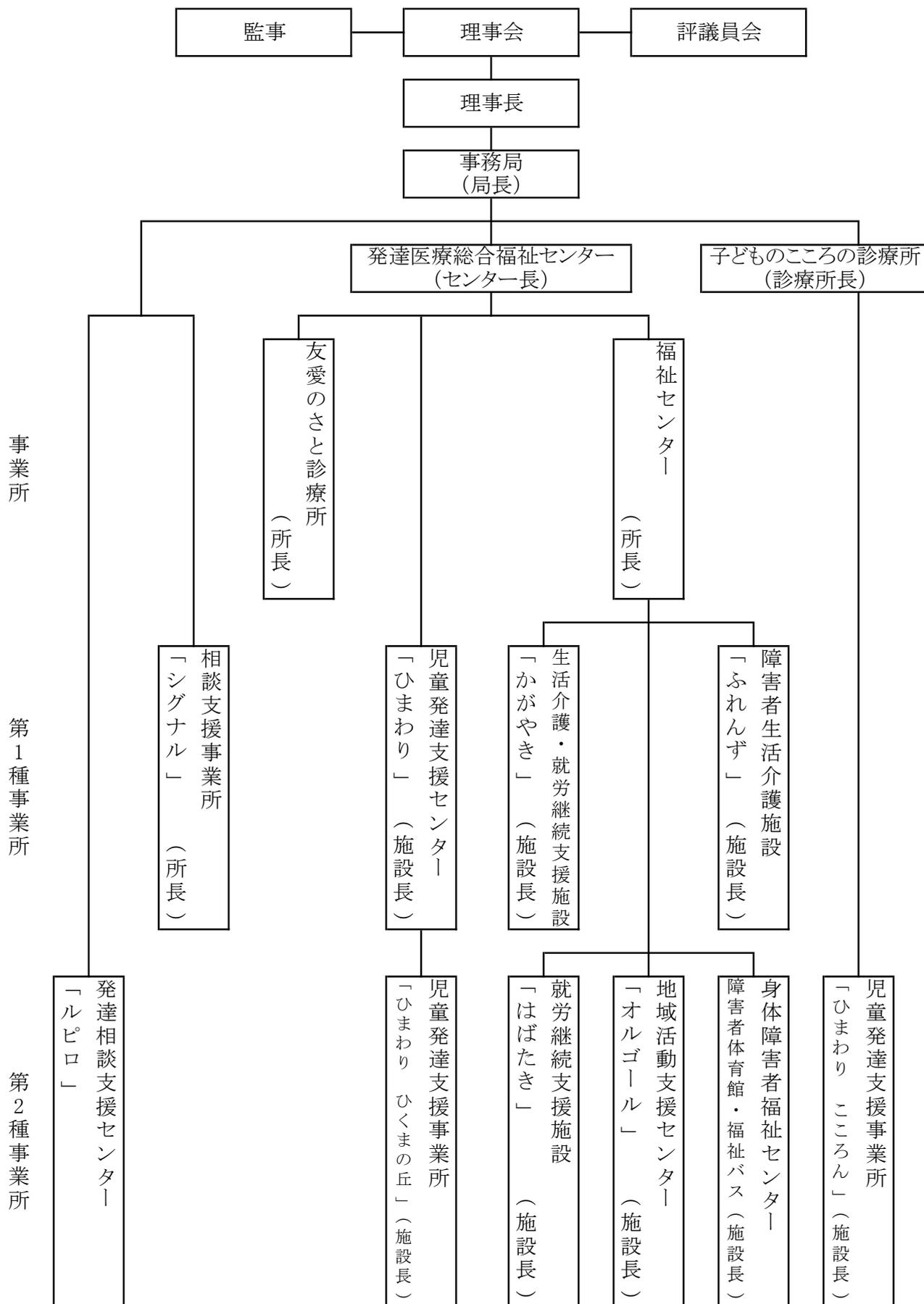
※ 一般開放・団体貸出しは土曜・日曜の利用を含みます。

項 目		単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	対前年度比	
体 育 館	センター内利用	利用日数	日	184	209	200	224	107.2%
		延べ人数	人	8,746	9,441	9,900	9,825	104.1%
		1日平均	人	47.5	45.2	49.5	43.9	97.1%
	一 般 開 放	利用日数	日	54	47	50	43	91.5%
		延べ人数	人	191	133	200	11	8.3%
		1日平均	人	3.5	2.8	4.0	0.3	10.7%
	団 体 貸 出	利用日数	日	145	139	200	40	28.8%
		延べ人数	人	4,364	3,768	6,300	708	18.8%
		1日平均	人	30.1	27.1	31.5	17.7	65.3%
体 育 館 合 計		延べ人数	人	13,301	13,342	16,400	10,544	79.0%
プ ー ル	センター内利用	利用日数	日	149	131	150	101	77.1%
		延べ人数	人	2,517	2,771	2,900	1,978	71.4%
		1日平均	人	16.9	21.2	19.3	19.6	92.5%
	一 般 開 放	利用日数	日	158	141	170	110	78.0%
		延べ人数	人	1,754	1,356	2,000	828	61.1%
		1日平均	人	11.1	9.6	11.8	7.5	78.1%
	団 体 貸 出	利用日数	日	112	116	100	84	72.4%
		延べ人数	人	759	835	1,000	473	56.6%
		1日平均	人	6.8	7.2	10.0	5.6	77.8%
プ ー ル 合 計		延べ人数	人	5,030	4,962	5,900	3,279	66.1%

体育館・プールともに、新型コロナウイルス対策のため、外部利用の一時休止や一回当たりの利用人数制限を実施したため減少した。特に、外部利用である一般開放と団体利用を休止(平日開放:4月から5月)(土日開放:4月以降)したことにより、利用日数と利用者数の減少が大きくなった。団体貸出し及び団体利用においては、利用団体へ平日利用の案内を積極的に行った。
新型コロナウイルス感染症対策のため、手指消毒、検温、換気、物品及び設備の消毒を徹底した。

【 15 】 法人組織・職員構成

《組織図》



《職員構成》

令和3年3月31日現在

施設等 職種	事務局長	事務局	発達医療総合福祉センター											子どものこころの診療所	ひまわり こころん	計
			相談支援事業所 シグナル	発達相談支援センター ルピロ	友愛のさと診療所	ひまわり	ひまわり ひくまの丘	福祉センター					ふれんず			
								身体障害者福祉センター	地域活動支援センター	かがやき	はばたき	ふれんず				
支援員	(1)	5 (1)	11 (4)	3	(5)	2 (7)	1	2 (14)	1 (3)	6 (9)	3 (3)	2 (12)	5 (4)	(1)	41 (64)	
医師					4 (11)								3 (5)		7 (16)	
保健師			1		1	(1)							1		3 (1)	
看護師					3 (4)	2 (1)				1		4 (1)	3 (1)		13 (7)	
臨床心理士					7 (5)	2 (1)	(1)						5 (2)		14 (8)	
診療放射線技師					1										1	
臨床検査技師					1										1	
言語聴覚士					2 (2)								5		7 (2)	
理学療法士					5 (1)	(1)				1		(1)			6 (3)	
作業療法士					4 (1)	1 (1)				(1)					5 (3)	
視能訓練士					1										1	
管理栄養士						1									1	
保育士			5 (1)			19 (12)	1 (2)							3	28 (15)	
計	(1)	(1)	(5)		29 (29)	27 (23)	2 (3)	2 (14)	1 (3)	8 (10)	3 (3)	6 (14)	22 (12)	3 (1)	128 (119)	
内数:産休・育休職員			1 (1)	1	1 (1)	2						1	1		7 (2)	

※ 注1 ()内の数字は非常勤医師、再雇用職員、準職員及び臨時職員の人数で外書き。

※ 注2 産休・育休職員、代替臨時職員含む。

○資格保有者数

社会福祉士		1	8 (2)	3		1	1	1	1	2 (2)		(1)	2 (1)		20 (6)
精神保健福祉士			2							1 (1)			3 (1)		6 (2)
介護福祉士			3					1 (2)		2 (3)	2	2 (9)			10 (14)

※ ()内の数字は、再雇用職員、準職員及び臨時職員の人数で外書き。

※ 重複資格保有者を含む。